

ケビン・コスナーの ガンランナー (1984)

THE GUNRUNNER

メディア 映画

ジャンル アクション 犯罪

製作国 カナダ

時間 86分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

「さよならゲーム」の後にビデオ公開されたK・コスナー主演のカナダ産低予算サスペンス。ただし「ファンダンゴ」の前に製作されたものの、その出来の悪さからアメリカでも未公開だったが「アンタップチャブル」以降の“コスナー人気”にあやかって、やっと陽の目をみた作品。時代は1920年代。動乱の続く中国に武器を密輸しているテッドが故郷のモンリオールに帰ってくる。そこでナイト・クラブの女性オーナー、モードの仲介で武器を購入出来る事になるが、モードの裏切りから次第に危険な罠に引き摺り込まれていくのだった……。というストーリーが展開されていくが、ただだらとはっきりしない展開とキレの全く感じられない演出。そしてまだ役者として洗練されていないケヴィンのやぼったい演技と、どこを取ってもいい所の無い、事実上本作が初主演となるコスナー自身も記憶の底から消し去りたいであろう最低映画である。

【クレジット】

監督	ナルド・カスティーヨ	Nardo Castillo
製作	リチャード・サドラー	Richard Sadler
	ロバート・J・ランゲヴィン	Robert J. Langevin
脚本	アーニー・ゲルバート	Arnie Gelbart
撮影	アラン・ドスティエ	Alain Dostie
音楽	オリヴァー・ジョーンズ	
出演	ケヴィン・コスナー	Kevin Costner
	サラ・ボッツフォード	Sara Botsford
	ポール・ソールズ	Paul Soles
	ロン・レア	Ron Lea
	アリン・ヴァン・ダイン	Aline Van Dine